

絹糸抽出期における高雌穂バイオマストウモロコシ MON87403 系統（食品）に係る食品健康影響評価について

1. 経緯

「絹糸抽出期における高雌穂バイオマストウモロコシ MON87403 系統」については、平成 28 年 12 月 7 日付けで日本モンサント株式会社から、遺伝子組換え食品の安全性審査の申請があったことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

2. 評価依頼品種の概要

本申請品目は、収量の増大を目的としデント種トウモロコシに *ATHB17* 遺伝子を導入したものである。

ATHB17 遺伝子はシロイヌナズナに由来し、当該遺伝子がコードする *ATHB* タンパク質は、転写因子のグループの *HD-Zip II* に分類される。*HD-Zip II* の転写因子には生殖生長及び子実の生長に関与するものが複数報告されており、*ATHB17* 遺伝子の導入により、本品種は生殖生長初期（絹糸抽出期）の雌穂の重量が増加するという形質が付与され、これによって収量の増大の可能性が高められる。

3. 利用目的及び利用方法

本品種の食品としての利用目的や利用方法は、従来の特ウモロコシと相違はない。

4. 諸外国における申請等

申請国等	申請・確認年月	申請先
米国	2015 年 6 月確認終了	米国食品医薬品局 (FDA)
カナダ	2015 年 11 月確認終了	カナダ保健省 (HC)
オーストラリア/ニュージーランド	2016 年 4 月確認終了	オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関 (FSANZ)